

自然ゆたかな町内会

「稲積」名称の由来

稲積の名称は、稲積豊次郎氏(富山県生)が明治40年に稲積農場を前田地区で開設したことに由来します。「稲積」という地名(住所)がありませんが稲積小、中学校、稲積公園、稲積公園駅、稲積病院など「稲積」の付いた名称は数多くあります。

稲積北町内会の誕生

稲積北町内会は、平成8年1月、稲積町内会から分離独立し誕生しました。当時、160加入世帯数でしたが、宅地造成などにより住宅建設が進み現在は、加入世帯数277(令和4年1月)と増えました。

自然ゆたかな環境

稲積北町内会は、都心へのアクセスもよく、病院、コープ・生協、子供たちを安心して預けられる児童会館、稲積小、中学校も近く、子育て生活環境よい地域です。

町内と隣接した大きな稲積公園があり、公園内には、パークゴルフ場、テニスコート、スケートボード場、野球場と屋外「いなづみプール」には、流水プール、ウォーターフォールがあり近郊から毎年10万人以上が来場します。

春は、中の川桜つつみの桜並木には、エゾヤマザクラ、チシマザクラなどの満開の季節に多くの市民が訪れ、サギ、マカモなど多くの野鳥が生息する自然ゆたかな環境に恵まれた地域でもあります。









